



バックモニターシステム HIT-711 取扱説明書

この度は、アルファ・デポ商品をお買い上げいただき誠にありがとうございました。

安全に正しくご利用いただくために、ご使用前にこの「取扱説明書」を良くお読みのうえ、正しくご利用下さい。

お読みになったあとは、直ぐに取り出して見られるところに、保証書と共に必ず保管をお願いします。

！ 運転中に本機の操作をしないで下さい。交通事故の原因となります。

もくじ

バックモニターシステム

HIT-711

<u>ご使用の前に</u>	<u>3~5</u>
<u>仕様</u>	<u>6</u>
<u>モニター各部の名称・アクセサリ</u>	<u>7</u>
<u>メニュー操作</u>	<u>8~11</u>
<u>設置方法</u>	<u>11</u>
<u>故障かなと思ったら</u>	<u>12</u>
<u>保証書とアフターサービス</u>	<u>13~15</u>

ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

安全上のご注意 マーク表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただくために、いろいろなマーク表示をしながら説明をしています。

表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険や、物的損害が発生する可能性があります。

これらを未然に防ぐために、以下の「マーク表示の例」をご覧になってから、各注意点をお読みください。

>>> マーク表示の例 >>>



一般的な注意、警告、危険



一般的な禁止



一般的な強制指示



感電注意



分解禁止



発火注意



高温注意

**本機の取り付けや配線には、専門技術と経験が必要です。
安全のため必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。**

設置時における注意点



本機は指定以外の配線や、指定機器以外との接続は行わないでください。火災や事故の原因となることがあります。



車体のボルトやナットを使用してアースを取るときは、ステアリングやブレーキ系統等の保安部品は使用しないでください。事故などの原因となります。



本機を前方の視界を妨げる場所や、ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所、または支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。
交通事故やけがの原因となります。



車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することのない様、注意して行ってください。火災の原因となります。



取付の際に車体のボルトやナットを使用する場合は、ステアリング・ブレーキ系統やタンクなどの保安部品用のものは絶対に使用しないでください。これらを使用しますと制動不能や発火の原因となります。



配線ケーブル類は運転操作の妨げとならない様、結束バンドやチューブ等でまとめておくなどしてください。ステアリングやシフトレバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと大変危険です。



配線作業中はバッテリーの(－)端子を外して行なってください。ショート事故による感電やけがの原因となります。
SRSエアバッグ装着車に取り付ける場合は、バッテリーの(－)端子を外して10分以上放置してから取付・配線作業を開始してください。



電源リード線の被覆を切って、他の機器から電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電源容量をオーバーし、火災や感電の原因となります。



湿気の多いところへの取り付けはお止めください。本機に湿気が混入すると発煙や発火の原因となることがあります。



ヒーター吹出し口への取り付けはお止めください。故障の原因となることがあります。



本機は運転中の振動や急ブレーキなどで外れたり、動いたりしないよう、しっかりと固定できる場所へお取付ください。
また、万一外れたり、動いたりした場合でも運転操作の妨げや運転者、同乗者に当たらない位置に取り付けてください。交通事故やけがの原因となります。



車体やねじ部分、シートレールなどの可動部に配線をはさみ込まないように注意してください。断線やショートにより火災や事故、感電の原因となることがあります。



車輛をバックさせながら、マーカの調整やメニュー画面の操作を行なわないでください。事故の原因となり、大変危険です。



取り付け作業終了後に、モニター取付部の点検をしてください。高さ調整ねじや角度調整ねじなどにゆるみがあったり、取付部分が密着していないと、事故やけがの原因となります。

使用・操作上における注意点



本機を車載以外には使用しないでください。感電やけがの原因となることがあります。



本機のケースは絶対に分解しないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店へご依頼ください。



モニター直射日光が当たる場所に駐車する場合は、本機に直射日光が当たらないように白い布などで覆ってください。火災や故障、ケースの変形等の原因となります。



本機内部に水が入らせないようご注意ください。火災や感電の原因となります。
モニター本体にはIP規格のIP64という国際防水規格を取得しています。



モニターの上に化粧品、薬品、水などの入った容器や小さな金属類、燃えやすい物、異物等を置かないでください。ケースのあわせ目やスピーカー部分の穴などからこれらが侵入したり、これらを差し込んだりすると、火災や感電の原因となります。



万一、異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど異常が起きましたら直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると火災や事故、感電の原因となります。



電源ハーネスを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、無理に引っ張ったりしないでください。電源ハーネスが破損して火災や感電の原因となります。



ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(規定アンペア数)のものをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。



長時間直射日光が当たっている場合は、モニターやアタッチメントが高温になっています。温度が高くなりますと部品などに悪い影響を与え、故障の原因となることがありますので、真夏の炎天下などに長時間駐車したあとに使用または調整をする場合は、車を少し走行させ、車内の温度が下がってから行ってください。



エンジンを切った状態で本機を長時間動作させるとバッテリーが過放電し、バッテリー上がりを起こす恐れがあります。エンジンをかけてアイドリング状態でご使用ください。



運転者がテレビやビデオ等の映像を見たり、映像機器の操作をする時は、必ず安全な場所に車を停車させてください。交通事故の原因となります。



運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。



本機に過大な力を加えたり、物をぶついたり、落としたりしないようにしてください。故障の原因となることがあります。



液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯する画素がありますので、あらかじめご了承ください。



液晶パネルは傷が付いたり、故障したりし易いので、取り扱いには十分注意してください。



特殊な環境下では、映像が出なかったり、液晶モニターの応答速度が遅くなったり、表示が不安定になったりすることがあります。使用温度範囲内(-20°C~+70°C)でご使用ください。



電源を入れたままモニターコードの着脱を行うと故障の原因となることがあります。モニターコードを着脱するときには、必ず電源を切ってください。



毎日の走行前に、モニター取付部の点検をしてください。高さ調整ねじや角度調整ねじなどにゆるみがあったり、取付部分が密着していないと、事故やけがの原因となります。



画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。火災や事故、感電の原因となります。



お手入れの際には、本機の電源ハーネスを外してから行ってください。感電の原因となることがあります。

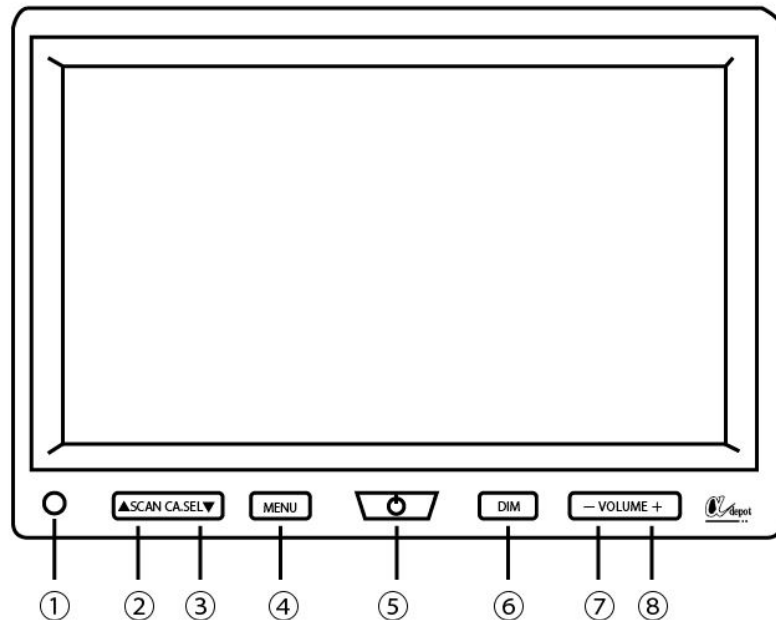


3年に1度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。本機内部にホコリがたまったまま長い間掃除しないと、火災や故障の原因となることがあります。

仕様

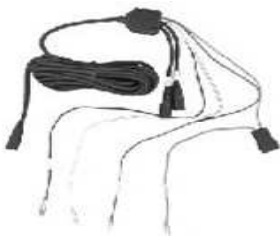
LCD パネル	7 インチワイド液晶
画素数	RGB ストライプ配列 800x480 ピクセル
輝度	400cd/m ²
ディマー	搭載
視野角	水平 140° / 垂直 120°
映像入力	1ch
スピーカー	1W モノラル
動作温度	-20°C~+70°C
保存温度	-30°C~+85°C
外形寸法	(W)181mm×(H)122mm×(D)24mm
重量	約 430g
電源	DC 12V / 24V
筐体	ABS

モニター各部の名称・アクセサリ



- ①光センサー
- ②▲アップボタン(メニュー選択時)・カメラ自動切替ボタン
- ③▼ダウンボタン(メニュー選択時)・カメラ手動切替ボタン
- ④メニューボタン
- ⑤電源ボタン
- ⑥戻るボタン(メニュー選択時)・ディマーボタン:オートディマー機能オフ時に画面の明るさを調整
- ⑦-ボリュームダウン:スピーカー音量を下げる
- ⑧+ボリュームアップ:スピーカー音量を上げる

II. アクセサリー



モニター電源ケーブル MC-105

メニュー操作

1.メニュー画面操作ボタン

1) 電源ボタン⑤

- 電源ランプが赤点灯:電源オフ(スタンバイ状態)
- 電源ランプが緑点灯:電源オン
- 電源オンすると、前回電源オフした前の画面が表示されます。

2) メニューボタン④

- メニューボタンを押すとメニュー画面が表示されます。

3) デイマーボタン:輝度自動調節⑥

オートデイマー機能オフ時に画面の明るさを調整できます。

4) ▲アップボタン(メニュー選択時)・カメラ自動切替ボタン② ※カメラ2は使用しない為ブルーバックになります

- カメラ表示画面で、カメラ自動切替ボタンを押すと、**カメラ1**→**カメラ2**の映像を一定の時間間隔で自動的に切替表示モードになります。もう一度このボタンを押すと、自動切替モードは解除されます。
- メニュー表示画面で、カメラ自動切替ボタンで選択カーソルを上方向に移動できます。

5) ▼ダウンボタン(メニュー選択時)・カメラ手動切替ボタン③ ※カメラ2は使用しない為ブルーバックになります

- カメラ映像手動切替ボタンで、**カメラ1**→**カメラ2**の映像表示を手動で切り替えます。
- メニュー表示画面で、カメラ映像手動切替ボタンで選択カーソルを下方向に移動できます。

6) -ボリュームダウン⑦ / +ボリュームアップ⑧

- +/-音量調整ボタンでスピーカーの音量を調整できます。
- 0~100 の設定値で調整できます。初期設定値 50 です。

2. メニュー設定について

1) ファンクション(機能)



- 言語 ボリューム+/-ボタンで言語を選択できます。
- システム ボリューム+/-ボタンでオート、NTSC、PAL から映像規格を設定できます。
- デイマー ボリューム+/-ボタンで画面輝度調節機能をオート、手動に設定できます。
- 初期化 すべての設定値が初期設定値に戻ります。メニューボタン④で設定値をリセットできます。

2) 画像設定



- **コントラスト**
ボリューム+/-ボタンで画面のコントラストを 0～99 設置値の間で調整できます。
- **明るさ**
ボリューム+/-ボタンで画面の明るさを 0～99 間で調節できます。
- **色合い**
ボリューム+/-ボタンで画面の色合いを 0～99 間で調節できます。
※数値が大きければ多き程、画面の色合いがより鮮やかになります。
- **シャープネス**
ボリューム+/-ボタンで画面の輪郭強調度を 0～99 間で調節できます。

3)カメラ設定



各カメラの表示、鏡像表示、駐車ライン表示、カメラ映像自動切替のスキャンタイムを設定できます。

- **カメラのオン/オフ**
ボリューム+/-ボタンでカメラ映像をオフ/オンすることが可能です。

- 鏡像

ボリューム+/-ボタンで鏡像表示をオンにすると、バックミラーに映ったのと同じカメラ映像がモニターに映ります。ボリューム+/-ボタンで鏡像表示をオフにすると、振り返って後ろを見たときに見えるカメラ映像がモニターに映ります。

- 駐車ライン

ボリューム+/-ボタンで駐車ラインを選択した上、メニューボタンを押すと駐車ラインの設定メニューに入ります。



- 駐車ライン トリガー/オン/オフ

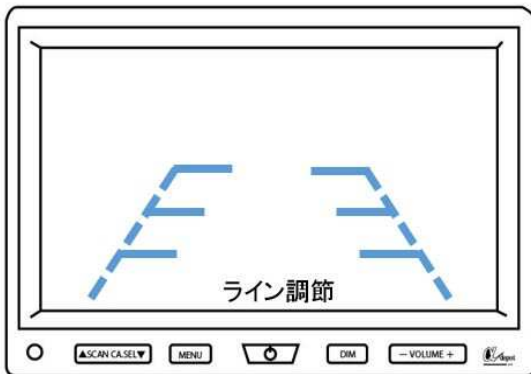
ボリューム+/-ボタンで駐車ライン表示をオン/オフできます。駐車ラインをトリガーに設定した際、対応したリバース等トリガーが触発された場合、駐車ラインが表示されます。

- ラインタイプ

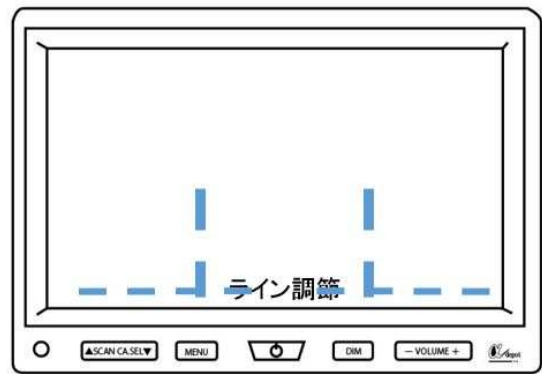
ボリューム+/-ボタンで駐車ラインの表示をタイプ 1~3 から選択できます。

- ライン調節

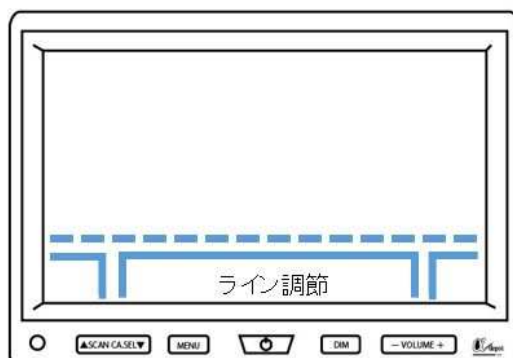
ボリューム+/-ボタンで駐車ラインの位置を調節することができます。



駐車ラインタイプ 1



駐車ラインタイプ 2



駐車ラインタイプ 3

- スキャンタイム ※この画面は調整不要です。初期設定のままご使用ください。

カメラ1⇄カメラ2映像自動切替する時間間隔を1～9秒間に設定できます。

4) トリガー設定



- ボリューム+/-ボタンで、トリガー1/2 が触発された際、表示する映像を、カメラ1 カメラ2から選択できます。また、トリガー1/2 が解除された際、対応するカメラ映像の残像時間を0～9秒間から設定できます。
※設定時間を0秒にした場合、そのカメラ映像は表示されません。

設置方法

モニターは、ミラー位置に設置してください。

- 運転手がバックギアを投入すると、モニターとバックカメラが自動的に作動し、走行状態に戻せば、解除されます。
- 後退時後方カメラによるカメラ映像が確認できると共に、駐車ラインも同時に表示されます。
- 駐車ラインは、「MENU」ボタン④の選択画面から“表示”を選択後は、バックギア投入時自動的に表示されます。運転手がこの駐車ラインを“非表示”に選択すれば、後方映像のみの表示になります。
- 駐車ラインの幅はその車輛の車幅を表示し、上下位置は、その車輛の後方バンパーから障害物までの距離目安にすることが出来ます。(操作は、前述：“駐車ラインの調整”)
- 後方確認映像は、モニターに常時表示することが出来ますが、運転手の都合により、電源をOFFすることで、非表示にすることが出来ます。その場合でも、バックギア投入時には、自動的にモニター及びカメラが瞬時に作動し、後方確認映像を表示します。
- 駐車ラインも同時に表示されます。
- 使い方の都合で、そのほかの映像情報をモニターに表示していても、バックギア投入時には最優先でカメラ1映像が表示されます。※

故障かなと思ったら

状況	チェックポイント
モニターに画像が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 接続コードが外れているか、又は正しく接続されていない。 ・ モニターの電源が OFF になっている。 ⇒ モニターの電源ボタンを押してください。 ・ モニターのメニュー画面から、① 入力の確認 (バックカメラ映像) をして下さい。 ② 輝度 (明るさ) の調整をして下さい。
接続後の映像が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 接続した機器の接続コードが外れているか、又は正しく接続されていない。 ・ モニターコネクターの再確認。
ギアをバックに入れてもバックカメラの映像が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ・ モニターの電源を押して映像が映る場合は、バック信号の接続が正しくされていないので、接続を確認してください。(駐車ラインは表示されません) ・ モニターの電源を押して映像が青画面に表示された場合はカメラの接続が正しくされていないので、接続を確認してください。
駐車ラインが表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車リアンの設定が OFF になっている。 ⇒ メニュー画面より再設定、確認してください。

* 上記項目をチェックされても症状が改善されない場合は、お手数ですがお買い上げをいただきました販売店へご相談ください。

保証書とアフターサービス

この製品は厳密な品質管理と十分な耐久試験を経て製品検査を合格したものです。お客様が説明書に従った正常な使用条件において万一故障した場合には、保証規定に基づいて修理対応をさせていただきますので、その際に本保証書をお買い上げの販売店にご提示ください。

尚、下記の場合は有償修理になりますので、ご注意願います。

1. 保証期間を過ぎた場合
2. 保証期間内の場合においても、
 - *誤用・乱用及び取扱不注意による故障
 - *天災地変、及び盗難等の災害による故障
 - *高圧洗浄機等による浸水、取り付け不備に起因する故障
3. 本保証書に必要事項が記載されていない場合

保証書

商品名	HIT-711	製造番号	
お客様	お名前 様		
	ご住所 〒		
	電話		
保証期間	年 月 日から 1年間	販売店	住所・店名 印 TEL
車種		取付業者	住所・業者名 TEL
車体番号			

お買い上げ時には、必ず所定事項をご記入の上、大切に保管してください。



株式会社アルファ・デポ

〒154-0012 東京都世田谷区駒沢 2-11-5 NEW VALUE 駒沢ビル 7F

TEL: 03-5432-6401 FAX: 03-3414-7121

www.alphadp.co.jp

